

平成 30 年 3 月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成 30 年 3 月 27 日(木) 開 会 午前 9 時 30 分
閉 会 午前 11 時 30 分
2. 会 場 茅野市役所 704 会議室
3. 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄
教育委員 濱 勝之 教育委員 小林 俊恵
教育委員 小平 光子
出席者 生涯学習部長 平出 信次 こども部長 牛山津人志
学校教育課長 有賀 淳一 幼児教育課長 五味留美子
生涯学習課長 藤森 隆 文化財課長 守矢 昌文
公民館長 矢島喜久雄 スポーツ健康課長 鋤柄 敏
教育総務係長 渡辺 雄一 こども係長 今井 明彦
生涯学習係長 伊藤 研一
教育総務主事 丸茂 直樹
4. 傍聴者 3 名

3月定例教育委員会次第

日 時 平成30年3月27日（火）午前9時30分から

場 所 市役所 704会議室

- 1 開 会
- 2 前回会議録の承認
- 3 報告事項
 - 第1号 教育長報告
 - 第2号 各課からの報告
 - (1) 学校教育課
 - (2) こども課
 - (3) 幼児教育課
 - (4) 生涯学習課
 - (5) 公民館
 - (6) 文化財課
 - (7) スポーツ健康課
 - 第3号 教育委員会共催後援
 - (1) 生涯学習課
 - (2) スポーツ健康課
- 4 議 案
 - (1) 4月1日付教育委員会関係の人事について
 - (2) 教育委員会事務局職員の人事異動について
 - (3) 規則・要綱等の改正について
 - (4) 茅野市社会教育委員の委嘱について
 - (5) 茅野市スポーツ推進委員の委嘱について
- 5 検討事項
今回はありません。
- 6 その他
 - (1) 市議会3月定例会一般質問について
 - (2) 市長部局規則改正について
 - (3) 全国学力・学習状況調査について
 - (4) 保育所運営審議会委員の選出について
 - (5) 第1次茅野市小中学校管理計画について
 - (6) 第1次茅野市 ICT 教育推進計画について
 - (7) 働き方改革加速事業について

次回定例教育委員会日程について

4月26日（木）午前9時30分「704会議室」
（事務局会議 4月12日（木）午前9時00分「704会議室」）

7 閉会

教育長

只今から3月定例教育委員会を開催します。

それでは前月の2月の会議録の確認をします。承認に入りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

教育長

異議ないようですので、委員会終了後に署名をお願いします。

では、報告事項に入ります。報告第1号をご覧ください。

1日2日に今年度最後の司書会がありました。新しく司書になられた方もいますが、非常に熱心に専門職としての力をつけられた年だと思っております。

3日に茅野高校の卒業式がありました。非常に感激し、しっとりとした雰囲気で行われました。高校の再編、学びの改革など色々ありますが、茅野高校が光り輝いていくのが茅野市の小学生・中学生にとっても一番必要な事ではないかと強く感じました。

4日は書いてある通り茅野美術協会総会・懇親会に参加しました。

5日に調べ学習の受賞報告会があり、永明中学校の戸田君が全国レベルで入賞したということで報告に見えられました。また、永明小中建替え説明会がありました。

6日に宮川小建替え説明会がありました。

7日には議会一般質問がありました。

8日に議会一般質問、社会科副読本贈呈式があり、また後ほど別室でお見せしますが、諏訪地域の企業の方々がキャリア教育を兼ねて社会科の副読本を作って頂きました。

9日に縄文プロジェクトの今年度最後の実行委員会があり、あと2年後の縄文ライフフェスティバルに2年間どのように繋げていくかが課題であり、その中で子供たちの学びと活動が繋げていくだろうという嬉しい言葉がありました。

10日にロングモント選考会があり、8名募集のところに10名の応募がありました。甲乙付け難い状況であり、お互いに納得の上で抽選会にし、2人の子が残念ではありますでしたが落ちてしまいました。

12日にセカンドブック打ち合わせ会がありました。

13日にケイタイインターネットの今年度最後の検討会と同時に今までのケイタイインターネット検討会はここで無くなりました。新しくIFW教育推進委員会というもので発展的スタートし、実際にIFW教育に対する支援も行っています。情報モラルと同時に支援も行っているということで新組織でのスタートとなります。＃

15日に永明中学校の卒業式があり、教育委員会にもそれぞれの中学校に行っていただきありがとうございました。＃

19日米沢小学校卒業式がありました。転任教職員送別式では今年度から形式を変えて行いました。反省点はありますが、続けていきます。＃

20日にはよこうち認定こども園卒園式、社会教育委員の会、ちりどりの贈呈式がありました。ちりどりの贈呈式では新聞に出していただきましたが下諏訪の方が一斗缶を半分に切り、そこに自分で取ってきた竹を括り付けてちりどりを作っていただきました。茅野市には130個作っていただきました。また諏訪郡内のそれぞれの市町村にも持ってきてくださっています。とてもありがたい事だと思います。＃

22日にやまびこ園の修了式があり、22名修了しますが、その中の多くの子供がこれで本来の園に戻っていくこととなりました。継続の子供が6名ほどです。＃

23日に保育園の卒園式があり、教育委員の皆様本当にありがとうございました。＃

25日に小平奈緒凱旋パレードと報告会が行われました。＃

本日は定例教委、永年勤続の先生方の表彰を行います。＃

28・29日はご覧の通りの日程になります。＃

30日で今年度全ての日程が終了となります。＃

以上ですがご質問などありますか。無いようですので、次に各課から報告事項第2号の3月の行事予定についてお願いします。

[各課から4月行事予定について報告]

資料(報告2号)

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課から教育委員会共催・後援について報告]

資料(報告3号)

教育長

報告事項について何かありますか。無いようですので次に移ります。

議案第1号「教育支援指導主事任命予定者」、お願いします。

こども部長

教育支援指導主事の任命予定者が一覧となっています。

1人目の行田先生であります。こども課の所属ということで発達支援センターで教育相談・観察等をしていただく予定となっています。

2人目の伊藤先生は学校教育課の所属ということで引き続き教科指導をするということになっています。

3人目の山岡先生は学校教育課に所属ということで新たに後任という形で英語科の指導をしていただくことになります。

以上3名の方となります。

その他の教育支援指導主事の方がいらっしゃいますが議案の第2号の中で説明させていただきたいと思います。

教育長

議案の第1号「教育支援指導主事任命予定者」についてはよろしいでしょうか。
それでは議案の第2号「所属、異動、昇任等」についてこども部長、生涯学習部長さんお願いします。

こども部長

議案第2号「所属、異動、昇任等」の資料の説明からさせていただきます。

3月12日付けとなりますが人事をしております総務課のほうから示された内示書となりまして8ページ構成になっています。1ページ上から部課長、下に係長、2ページ3ページが係長、3ページ下から主査、4ページが主査、主任、5ページが保育士関係の園長、主任、保育士の移動となります。7ページが再任用職員の内示書になります。8ページが退職の関係になります。

次に議案の第2-2号「部内異動」になります。1ページから3ページで組織順の構成となっています。新しい職員体制で職務を全うしていきたいと思いますのでご確認願います。

教育長

質問等ございませんか。

次に議案第3号に移ります。学校教育課長より一括説明をお願いします。

学校教育課長

こちらは教育総務係長から一括ご説明させていただきます。

教育総務係長

議案第3号につきましては学校教育課、こども課、幼児教育課、生涯学習課からそれぞれ出されています既則の変更の内容について一括で説明させていただきます。

まず、議案の第3-1-1号ですが、学校教育法施行令が昨年9月に国のほうで改正になりました。左側に旧、右側に新とありますが、どのように変わったかと言いますと学期及び休業日の規定が変わりました。家庭及び地域における体験的な学習活動その他の学習活動のための休業日を新たに設ける規定になります。大人と子供が触れ合いながら

充実した時間を過ごすことができるように、特に長期休業の事を指していると思います。

学校の休業日を分散化することによって、家庭や地域において大人と子供が触れ合う時間が生まれてくる、その考え方を基にしてこのような休業日を新たに設けるということが昨年の9月13日に公布されました。

次に議案第3-1-2号になります。学校教育法施行令の改正に伴って、茅野市のほうで設けています茅野市学校教育法施行細則の部分でも休業日を規定していますので、新たに体験的学習活動等休業日という表現になりました。また、ここで新たに「夏期」、「冬期」を「夏季」、「冬季」に変更しました。以上が議案第3-1-2号になります。

次に議案第3-1-3号は議案3-1-1号、3-1-2号を入れ込んだ新旧の対照表になります。同じ施行細則になります。

次に同じ内容で影響してくるのが議案第3-1-4号です。茅野市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則になります。この管理規則の中でも休日のことについて謳っています。まず管理規則の一部改正の第1条では施行細則の表現に『茅野市』が抜けていましたので「茅野市学校教育法施行細則」という言葉に改めました。

次に平成30年度は小学校が道徳化を強化し、平成31年度は中学校で道徳化を強化します。まず小学校を強化することによって、この管理規則の中にある評価の部分ですが、道徳というものを新たに規定したところです。

次に議案の第3-1-5号になります。説明しました議案3-1-4号の新旧対照表になります。

次に議案3-1-6号になります。これは小学校及び中学校文書規程の一部を改めるものです。教科化される道徳という教科をここに入れました。そういった改正となっています。

次に議案第3-2-1号になります。ここではまず公民館の名称が「中央公民館」に変更されるということで教育委員会事務委任、専決及び代決規則及び茅野市教育委員会組織規則の一部の中にある「公民館長」という言葉を「中央公民館長」に全て改めていきます。

同じくこの規則の中で子ども手当が規定されていますが、全て国のほうで児童手当1本化によって子ども手当が廃止になっていましたが、子ども手当を入れていましたので、ここで削除することになりました。

次に園長補佐という職層を新たに設けることとなりました。園長補佐は保育、所属保育士の指揮監督及び園長の職務遂行の補佐をする職となっています。その職についても同じ組織規則に加えることとなりました。

次に議案第3-2-2号になります。これは議案3-2-1号の新旧対照表となります。左が現行、右が改正案です。

次に議案3-2-3号になります。こちら関係の規則になりますが、茅野市教育委員会生涯学習センター設置要綱の一部を次のように改めます。茅野市教育委員会生涯学習センター設置要綱の中にも「公民館」の表記がありましたので、これを全て「中央公民館」に改めます。

次に議案 3-2-4 号になります。こちらは新旧対照表になります。今まで申し上げてきた内容の新旧対照表になります。

次に議案第 3-2-5 号になります。こちらは茅野市教育委員会公印規程になります。こちらにも「公民館」から「中央公民館」に改まったことよっての改正です。今まで茅野市公民館長の印がありましたが、これも茅野市中央公民館長の印に名称を改めて作るということでございます。この公印は利便性を高めるためにも横書きと縦書きが必要ということで、今回改めて大きなサイズで作るということです。

次に議案第 3-2-6 号になります。公印規程に規定されている左側が現行、右側が改正案となりまして改正になりました所には全て網掛けがしてあります。これも中央公民館関係のご案内となりますので確認をお願いします。これで議案第 3 の内容はこれで全てとなります。

教育長

学校教育法施行令の改正に伴う市の規定の改正と中央公民館等の組織改正になりました。それから特別の教科道德の改正がありましたが、よろしいでしょうか。
次に議案第 4 号について生涯学習課からお願いします。

生涯学習課長

社会教育委員の任期が 4 月 1 日から 3 月 31 日ということで、ここで 1 年が終わるところになります。通常の方は任期 2 年でそのままになりますが、資料にありますとおり新任という方が 3 名いらっしゃいます。小中学校長、高等学校、PTA 連合会は 1 年交代となっていますので、新任に PTA 連合会会長の伊藤さんに委嘱したいと思います。

次に高等学校ですが、茅野高等学校校長の志津 千代子先生に委嘱したいと思います。

最後に学校長の関係ですがこちらについては現段階で 4 月の校長会の中で検討していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

次に議案の第 4-2 号は添付資料となりますので省かせていただきますがご理解いただきたいと思います。

教育長

それでは規則に基づいて承認ということでよろしいでしょうか。
次に議案第 5 号についてお願いします。

スポーツ健康課長

平成 29・30 年度のスポーツ推進委員の名簿があります。現在 1 名欠席になっているところを 12 番の伊藤久美さんをお願いしたいと思います。以上でございます。

教育長

12番の欠員ですが伊藤さんでよろしいでしょうか。
次に検討事項は今回ありませんので、その他に移ります。

1つ目にこども部長さん、生涯学習部長さんお願いします。

こども部長

その他1の資料をご覧くださいと思います。まず、篠原啓郎議員になりますが2つの質問をいただきました。1つ目が小学校の英語活動と英語教育についてということで項目としては3項目です。

1つ目の現在の英語活動の状況についてですが、茅野市では1年早く先行実施している。3・4年生は35単位時間、5・6年生は70単位時間。台湾から秋先生を招聘し主に5・6年生を指導し、成果が上がっている。という内容の回答をいたしました。

2つ目に新たな英語教育に向けた準備についてですが、来年度も先行実施を継続する。1・2年生は10単位時間の英語に親しむ時間を確保する。ALTの勤務時間は7時間を8時間に増やす。来年度は英語担当の指導主事を任用する。という回答をいたしました。

3つ目に家庭との連携についてですが、英語が堪能な保護者や地域人材の支援・協力が望まれる。信州型コミュニティスクール茅野市版を立ち上げた。という回答をしました。

次に小学校の道德教育と縄文科についてです。3項目の質問をいただきました。

1つ目は道德教育の現状と縄文科についてですが、特別の教科である道德として小学校は平成30年度から、中学校は平成31年度から教科化となる。茅野市では教科化の研究をして、「心の教育」という名称で位置付けている。といった回答をしました。

2つ目は新たな道德教育における家庭や地域との連携についてですが、配慮事項として、家庭や地域社会との共通理解を深めるとある。具体的な視点は、①授業の公開、②授業への積極的な参加協力の工夫。道徳的な心情や判断力、実践意欲や態度を育てなければならない。コミュニティスクールによる地域と連携した取り組みが期待される。といった回答をしました。

3つ目は児童の道德習得状況の確認方法についてですが、道德の評価は数値では行わないと定められた。励ます個人内評価として記述による評価としたい。と回答しました。

続いて山岸正衛議員です。学校林の整備につてということで、3項目の質問をいただきました。

1つ目は現在の整備及び活用状況についてですが、9小学校で約90haを所有。永明小、豊平小、玉川小、金沢小が遠足や体験活動を実施。豊平小、泉野小は、鹿島リゾートへ賃貸。毎年2ha程度の除間伐を実施、平成3年から約82haが整備済みという回答をしました。

2つ目は現在の問題点についてですが、学校から遠距離で、移動手段がなく活用が困難な状況。毎年整備しているが、20年以上経過した箇所あり整備は不十分。という回答をしました。

3つ目は森林づくり県民税を活用し整備することについてですが、平成30年度整備予定の米沢小から県民税活用事業が利用できれば実施したい。という回答をしました。

次に両角秀喜 議員です。保育園が繰り広げる若者世代応援策についてで、3項目の質問をいただきました。

1つ目に保育園3歳～5歳児の人口動態についてですが、0歳から5歳の人口は減少傾向にあるが入所児童は横ばいである。10年前と比較すると0歳は1.3倍、1歳1.6倍、2歳1.8倍となっている。といった回答をしました。

2つ目に保育園統廃合問題についてですが、保育園管理計画では、みどりヶ丘、笹原保育園は、統廃合検討委員会を設置して検討するとしている。少子高齢化による財政規模の縮小、満児の増加による保育士不足のために統廃合を検討する。延長保育、乳児保育、障害児保育を充実させることができる。

3つ目に自然保育と地域が織りなす若者応援策についてですが、茅野市の保育は、広い園庭や地域の特性を生かして、子どもの興味関心を理解し、発達過程を踏まえて見通しを持った保育。屋外の体験学習も重要だが、室内の読書活動、表現活動、テーマのある遊び、様々な体験をバランスよく行っている。移住促進の取組みとしては、子育て応援移住セミナーで情報発信する。といった回答をしました。

次に樋口敏之議員です。市内小中学校における訪日教育旅行学校交流と英語教育推進アドバイザー導入後の子ども達の変化と今後についてで、2項目の質問をいただきました。

1つ目にロングモント市ホームステイ交流事業及び中学生台湾交流事業を含む訪日教育旅行学校交流の現状と今後についてですが、ロングモント交流は、平成2年に姉妹都市提携、平成3年から交流事業を実施。滞在中、議会での英語スピーチ等を行い自信につながっている。翌年各家庭に受け入れている。本年度は中学生6名、高校生2名。平成13年から茅野国際クラブに業務委託し、公民協働で取り組んでいる。平成27年に高雄市と市内4中学校が姉妹校提携。11月に高雄訪問、翌年1月に高雄市からの受入。本年度の参加者は各中学6名、合計24名。受入は、中学生73名、高校生19名。といった回答をしました。

2つ目に英語教育推進アドバイザーの成果と中学生台湾交流事業を絡めた平成30年以降を基に教材を作成。次年度は文科省の教材を利用し先行実施を継続。1・2年生も10単位時間の英語に親しむ時間を設ける。秋先生の教材は利用する。次年度からは英語担当の指導主事を配置。テレビ会議システムを利用して英語教育の交流や台湾交流事業を実施。といった回答をしました。

次に長田近夫議員ですが、学校での心肺蘇生教育の普及推進及び突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備についてですが、4項目の質問をいただきました。

1つ目に市内小中学校におけるAEDの設置状況についてですが、長峰中以外は、各校1台をリース契約で設置済。長峰中学は、平成24年に1台購入して設置済。中2の登山にはリース契約で持参。運動会や社会体育の関係者も利用できるよう配慮。といった回答をしました。

2つ目に教職員へのAED講習の実施についてですが、茅野市では、消防署の協力を得て、中学校は夏休みに保護者と教職員対象に1回実施。中学校は、7月～8月に教職員対象に1回実施。といった回答をしました。

3つ目に市内小中学校における教育の現状についてですが、平成20年度の中学校の指導要領ではAEDの必要性が盛り込まれた。小学校の指導要領には盛り込まれていない。茅野市では、保健計画を作成して予防についての指導をしている。といった回答をしました。

4つ目は心肺蘇生教育の今後の方向性についてですが新指導要領では、心肺蘇生を行うことと明記されている。教科書に沿って実施していく。といった回答をしました。

次に伊藤正陽議員ですが、生活保護の生活扶助費引き上げについて2項目の質問をいただきました。

1つ目に見直しにより影響の出る事業についてですが、茅野市で影響の出る事業は全部で47事業。小中学校は、生活保護基準に基づいた児童生徒219名に影響が出る可能性がある。保育園は、生活保護世帯、ひとり親は軽減措置により保育料がゼロなので影響はなし。といった回答をしました。

2つ目に生活保護費の引き下げにより影響が出る可能性のある制度・事業・措置等での市の影響回避の取組みについてですが、国から明確な基準が示されていないので影響は把握できない。できる限り影響が及ばないように対応する。といった回答をしました。

次に望月克治 議員ですが、持続可能な地域を構築するため市民意見をどのように集めるのかについて、1項目の質問をいただきました。

子育て世帯の意見はどのように集めているのかについてですが、どんぐりプランでは、20代から40代を多く抽出する工夫をした。前回27%の回答率が今回は56%となった。保護者会、PTA等から策定委員に委嘱して意見を聴取している。独自アンケートでは2000件の回答を得た。0123広場は運営委員に策定委員に委嘱、保育園は保護者会を通じて意見聴取。といった回答をしました。

こども部については以上になります。

生涯学習部長

北澤千登勢議員になりますが教育行政について3項目の質問をいただきました。

1つ目に水濠の設置についてですが、第3種公認に必須条件でなかった水壕は、未改修とした経過があります。県内には、この種目を行うことができる競技場が、6か所あり、現在、南信大会の会場は、伊那市の競技場で開催されるのが恒例となっている。昨年、高体連の南信大会に出場した選手は、男子32名、そのうち諏訪地方の選手は11名であった。障害物競走を行うためには、水壕だけでなく専用ハードルの購入や、トラックと水壕間の走路も改修工事が必要になる。競技人口が少なく、小中学生の競技種目になっていないこと、第3種公認には、水壕の設置が義務付けられていないこと、第3種公認を

維持するための仕様条件を満たすには設備、備品に経費がかかることなどを考えると、水壕の整備については、現在のところ考えていない。といった回答をしました。

2つ目の照明設備の改善についてですが、照明は、当初から練習ができる程度の明るさとして設置したもので、大会や記録会を行うことは考えていない。近年、茅野市運動公園の周辺にも住宅が増えたことから、夜間照明は、近隣から苦情が出るなどの問題が発生している。夜間の大会開催は、照明の明かり、応援などの騒音が近隣の迷惑になることが考えられる。以上のことから、当面は現状のままとし、今後、照明設備の更新を行う際、照度を上げる改善を図ってまいりたいと思います。といった回答をしました。

3つ目に市制60周年記念地区対抗駅伝大会の実施についてですが、地区対抗駅伝は、昭和63年の市制30周年記念事業として、茅野市体育協会の前身団体であった茅野市体育連盟主催で、茅野市陸上競技協会が主体となって実施された。天候にも左右されるイベントなので、十分な準備が必要になる。茅野市体育協会に確認したところ、現時点では駅伝の計画はないとのこと。陸上競技協会も役員の高齢化が進み、現体制ではイベントの運営は難しいとの考えである。また、市街地での開催は、交通安全の確保が難しく、茅野警察署が難色を示していることもあり、駅伝大会の開催は考えておりません。といった回答をしました。

次に丸茂岳人議員であります。平成30年度予算から考えるこれからの茅野市についてですが、1項目の質問をいただきました。

運動公園施設の整備及び改修工事についてですが、運動公園内施設の改修工事は、担当課で、作成した今後10年間の体育施設改修工事計画に基づき、改修工事を実施していきます。平成30年度は、庭球場の大規模改修を計画しています。以前からテニス愛好者、NPO法人茅野市体育協会、茅野市ソフトテニス協会、茅野市テニス協会から改修の要望が出され、1億9千9百7万7千円をかけ、大規模な改修工事を行います。現状のクレイコートでは、降雨後、乾燥するまでしばらく使用できない状況でした。全天候型のコートへ改修することで、雨上がり後、わずかな時間でコートの使用が可能になります。同時に庭球場の稼働率も大幅に上昇し、利用者の満足度を上げることが期待できます。また、毎年春先に行っていたクレイコートの整備作業が不要になり、市外で開催されていた各種大会の誘致が可能になることから、市外からの利用者の増加も見込まれ、テニス愛好者の利用増加が期待できます。なお、工事期間等は利用シーズンを避け、極力利用者の迷惑にならないよう配慮し、実施してまいります。といった回答をしました。

教育長

ご質問などございませんか。それではその他2について学校教育課からお願いします。

学校教育課長

その他 2-1、2-2 については同じものですので、その他 2-2 で説明させていただきます。こちらは市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程というものがございます。この中では地方自治法の規定によって市長の権限に属する事務の一部をその他行政委員会の事務職員のほうに補助執行することができるという規定されているものでございます。これにつきまして、原稿のほうを見ていただくと第 2 条のところに教育長に補助執行させるというふうになっていますが、新しい教育委員会制度では教育長は特別職という形になりますので補助執行させることができません。それに伴った内容を改正するものでございます。また、これに伴ってそれぞれ決済区分等もこの中で細かく決めていましたが、これはその他の一般的な決済区分に合わせるということです。細かい部分については省き、但し内容については変わらないということです。このことによって補助執行は教育長ではなく、教育委員会の事務局職員という形になりました。また、これに合わせてこれらの規定は教育委員会だけではなく、その他に行政委員会があります。これらも同じようにまとめてあるということでございます。告示については教育委員会告示ではなく、茅野市告示で行うような内容となっています。

教育長

質問等ございますか。

次にその他 3 について学校教育課長お願いします。

学校教育課長

全国学力・学習状況調査についてです。来年度の予定ですが、来年は 4 月の 17 日（火）に実施をされる予定です。内容は本年度と同じ国語、小学校については算数、中学校については数学、また、3 年に一度理科を実施しております。来年度 H30 年度に理科を行うということです。従って、小学校は国語、理科、算数、中学校は国語、理科、数学といった内容になる予定です。以上になります。

教育長

続いてその他 4 について幼児教育課長お願いします。

幼児教育課長

その他 4 になりますが、茅野市保育所運営審議会委員会の委員については教育委員会委員の方から 2 名の選出をお願いしております。9 月 30 日をもって、小林 智さんが任期を終了となりましたが、知識経験者ということで平成 30 年 3 月 31 日までは、委員として残っていただいたという状況になります。平成 30 年度の審議会委員として 1 名選出をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

教育長

続いて、その他の5について学校教育課長お願いします。

学校教育課長

第1次茅野市小中学校管理計画について説明（資料その他5）

【概要】

①計画名称

- ・第1次茅野市小中学校管理計画

②計画期間

- ・2018年度～2027年度

③背景

・茅野市が保有する公共施設は、昭和40年代後半から平成初期にかけての建築が多くを占めており、総延べ床面積は約29万㎡で、平均築年数は約26年、建築後30年以上経過した公共施設が全体の約41%（約11.9万㎡）を占めています。そのうち、小中学校施設は総延べ床面積の約32%（106棟 約9.2万㎡、軽微な物置等を含めると9.4万㎡）と大きな割合を占め、昭和40年代から60年代にかけて一斉に整備されたものが多く、築年数が30年以上の施設は、約75%（6.9万㎡ 75棟）を占めています。

④目的

・小中学校施設は地域住民にとって最も身近な施設であり、生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場として、また、地震等の非常災害時には基本避難所としても重要な役割を担っている拠点施設でありますので、統廃合は行わないものとします。
しかしながら、「総合管理計画」の基本方針にもありますように、人口減少による生産年齢人口の減少に伴う市税収入の減少が想定されるなか、保有しているすべての施設を保有し続けることは困難な状況です。また、従来の建て替えを中心とした老朽化対策では、財政的に対応しきれない施設が大幅に増加することが見込まれます。

そこで、小中学校施設については、原則として長寿命化改修（以下「リノベーション」という）により施設整備をしていくこととします。リノベーションは既存の構造躯体を引き続き利用していく改修であります。建て替えより工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少なく、建て替えた場合と同等の教育環境の確保が可能です。リノベーションを基本に、第3次茅野市こども・家庭応援計画（どんぐりプラン）、小中一貫教育など関連計画との整合を図り、子どもたちが安全・安心かつ良好な環境で学習することができるように快適な学習環境の提供と、日常的な定期点検による、適正な施設管理を行いながら、ライフサイクルコストができるだけ掛からない整備事業を確実に実施していくことを目的とした「第1次茅野市小中学校管理計画」を策定します。

⑤学校施設の目指すべき姿

- ・「安心・安全な学校」「快適な学びを保障する学校」「地域と共にある学校」

【説明】

- ・安心・安全な学校のために、災害対策、防犯・事故対策を強化します。
- ・快適な学びを保障する学校のために快適な学習環境、教職員が教育に打ち込める学校を目指します。
- ・地域と共にある学校のために、コミュニティースクールとしての学校、地域の防災拠点（避難所）、地域の誇りとしての学校を目指します。

⑥学校施設の事態

- ・茅野市には、小学校 9 校、中学校 4 校の合計 13 校の学校施設があります。小学校全体の延床面積は 58,012 m²、中学校全体は 34,000 m²となり、小中学校合わせた延床面積は 92,012 m²（軽微な物置等を含めると 93,528.82 m²）となっています。また、どんぐりプランにおける学校施設の活用においては、放課後児童健全育成事業として、学童クラブを市内 9 小学校 13 箇所で開催し、昼間、就労等により保護者が家庭にいない児童を対象に、正しい生活指導を行うとともに児童の健全育成を図るため、子育て家庭に対する支援を行っています。

⑦学校管理計画の基本的な方針等

- ・「総合管理計画」で示したとおり、小中学校施設の統廃合は行わないこととし、リノベーションにより施設整備を行うことを基本方針とします。また、それぞれの地域の特性に応じて、将来の児童生徒数を考慮した施設規模、地区コミュニティセンターや保育園等との複合化や多機能化により施設総量を縮減することもあわせて検討していきます。ただし、以下に示す場合については建て替えについても検討することとします。

- (1)鉄筋コンクリート劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、建て替えした方が経済的に望ましい施設
- (2)基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している施設
- (3)校地環境の安全性が欠如している施設
- (4)建物の配置に問題があり、リノベーションによっては適切な教育環境を確保できない施設
- (5)学校の適正配置など地域の実情により建て替えせざるを得ない施設

⑧基本的な方針を踏まえた整備水準

- ・部科学省が設置した学校施設のあり方に関する調査研究協力者会議から「学校施設の老朽化対策について～学校施設における長寿命化の推進～」という基本的方針が示されました。

示された見解として、以下の 2 点があります。

- ・鉄筋コンクリート造の躯体は、一般的に耐用年数が 60 年とされているが、コンクリート躯体は維持補修の仕方により、80 年以上十分活用ができます。

- ・現状の学校施設をできるだけ早期に、建築後 40 年程度で躯体のコンクリートを保護することで耐用年数を十分延長できます。

⑨10 年間における個別実施計画

- ・茅野市の築 40 年を超える学校施設は、永明中学校、永明小学校、宮川小学校の 3 校となります。10 年間における本計画では、建築年度が古い永明中学校・永明小学校・宮川小学校を優先的に整備していく計画とします。

- ・永明小学校・永明中学校

(現状)

両校ともに校舎は平成 17 年（2005 年）に耐震補強改修工事、平成 27 年（2015 年）には体育館非構造部材耐震化工事が完了し、地震に対する安全性は向上しています。

しかしながら、これまでの公共施設が築 40 年程度で建て替えられてきたことから、建物の修繕に関しては、建て替えを見据えたうえで、必要最低限な修繕を行ってきている状況です。

(施設総量の縮減)

本計画で、「4 学校管理計画の基本的な方針等」で示したとおり、施設総量の縮減をするためには、隣接する施設の機能の集約化や統廃合、複合化、多機能化が欠かせません。永明中学校と永明小学校の周辺には、ちの地区コミュニティセンター、家庭教育センター、体育練成館、ちの保育園が隣接していますが、これらの施設はまだ比較的新しいものが多い状況です。今後、これらの施設で提供している行政サービスの方向性や施設のあり方を議論し、施設総量の縮減を目指す必要があります。

(施設一体化)

小学校と中学校を施設一体型として整備することで、最適な立地条件にあります。

(整備方針)

永明小学校の建物をリノベーションすることとした場合、小学校のグラウンド面積が限られていることや、小学校敷地の北側と中学校のグラウンドの間に水路があること、また、高低差もあることが課題となります。

一方、永明中学校の建物をリノベーションする場合においても、敷地が狭く、現在の中学校の校舎とグラウンドとの間を道路が横断していることが課題として考えられます。以上の状況から永明小中学校についてはリノベーションをせず、建て替えが妥当だと考えられます。

なお、永明中学校の敷地の一部が国土交通省の調査要領により、都道府県が行う土砂災害危険箇所基礎調査において土石流危険区域に該当していますので、対応を検討する必要があります。

加えて、永明中学校敷地内は「永明中学校グラウンド遺跡」に登録されているので、隣接する永明小学校敷地内も含め発掘調査が必要となり、遺跡の範囲によっては建設工事期間も長期化する可能性が考えられます。

・宮川小学校

(現状)

校舎は平成 20 年（2008 年）に耐震補強改修工事、平成 27 年（2015 年）には体育館非構造部材耐震化工事が完了しており、地震に対する安全性が向上しています。建物の修繕に関しては、必要最低限な修繕を行ってきている状況です。

(施設総量の縮減)

宮川小学校には隣接する市の施設はありませんが、余裕教室などの空きスペースを有効活用する観点から、複合化・多機能化を図り、地区コミュニティセンター機能を持たせる方向性や、逆に、減築により将来的に発生するライフサイクルコストの縮減と施設総量の縮減を図る方向性も考えられます。

(整備方針)

「基本的な方針を踏まえた整備水準、リノベーションの整備水準」に沿って施設整備を行うものとし、併せて上記の複合化や多機能化又は減築について検討し、既存の構造躯体を使用した明るく、きれいな、使いやすい施設へリノベーションを行う計画とします。

なお、宮川小学校の小体育館の一部が国土交通省の調査要領により、都道府県が行う土砂災害危険箇所基礎調査において急傾斜地崩壊危険箇所に該当していますので、将来的な児童数の減少も考慮し、必要性も含めて検討する中で方向性を出すこととします。

教育長

質問等ございませんか。

次に第 1 次茅野市 ICT 教育推進計画についてお願いします。

学校教育課長

第 1 次茅野市 ICT 教育推進計画（資料その他 6）

【概要】

① 計画名称

・第 1 次茅野市 ICT 教育推進計画

② 計画期間

・2018 年度～2020 年度

③ 計画策定の趣旨・位置付け

・茅野市では「第 5 次茅野市総合計画（2018 年度～2027 年度）」の策定を進めており、その政策横断プロジェクトの 1 つとして「茅野市 ICT 活用戦略」を定めることとしている。また、総合計画における子育て分野の計画となる「第 3 次茅野市こども・家庭応援計画」の策定を進めており、ICT 教育について盛り込む予定としている。

④ ICT 教育の現状と課題

・茅野市として今後の ICT 環境整備を検討する上で、学校現場で抱える課題・要望として「大型提示装置の設置」が最も多くの課題・要望を解決する案となる。「大型提示装置」が課題・要望として圧倒的に多くあがったことから、教員の多くは授業等において様々な教材を手軽に大きく提示できる環境を求めていることがわかる。

⑤ 茅野市 ICT 教育の基本目標及び基本方針

・「21 世紀を切り開く心豊かでたくましく、やさしい、夢のあるひと育ちの茅野市教育」を進め、次世代を担う子供たちの『生きる力』を育むため、ICT の活用による『主体的・対話的で深い学び』を実現する。

・茅野市の ICT 教育の現状と課題、国・県の動向、次期学習指導要領等を踏まえ、茅野市 ICT 教育として『情報教育の充実』『プログラミング教育の推進』『特別支援教育における ICT 活用』『授業における ICT 活用』これらを支える整備として『ICT 支援体制の整備』を目指す。

⑥ 茅野市 ICT 教育の取り組み

・次期学習指導要領において、児童生徒に身に付けてほしい資質・能力は、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性等」の 3 つに分類される。この 3 つの資質・能力を育むため、『情報リテラシー』、『情報モラル』、『情報セキュリティ』の 3 つの観点で情報教育の充実を図る。発達の段階に応じて身に付けてほしい具体的な資質・能力については、「第 1 次茅野市 ICT 教育アクションプラン」で示すこととする。

・プログラミング教育の推進

次期学習指導要領において、情報活用能力育成の一つとして「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」が記されている。ただし、小学校におけるプログラミング教育は、コーディング（プログラミング言語を用いた記述方法）を覚えることを目的とせず、プログラミング的思考力を育成するものとしている。プログラミング的思考力とは、「問題解決のために、構成する要素を分解し、その組み合わせや手順を論理的に考える」ことであり、生活や学びの様々な場面で役立つ考えである。茅野市は、学習指導要領の改訂前より、段階的に児童生徒にプログラミング的思考量を育成していくため、3 つの（アンブラグド教材）（ビジュアルプログラミング教材）（ロボット制御）でアプローチをし、プログラミング教育を推進していく。

教育長

質問等ございませんか。

次にその他 7 について私からお話します。

信州発スクールイノベーション 働き方改革加速事業（資料その他 7）

【概要】

①事業名称

- ・信州発スクールイノベーション 働き方改革加速事業

②事業目的

- ・すべての公立小中学校、すべての授業で、質の高い授業を実現するために、学校と教員が担うべき業務を明確にし、分業化、協業化、効率化を進め、長時間勤務という働き方を改善することを目的とする。

③施策内容

モデル地域リーディング校での教員加配による分業化、協業化の実践研究

- ・学校では質の高い授業をし、ICT 活用での公務員支援システムを充実させる。また、加配教員：統括コーディネーターとして授業を一切持たずに生徒を推進していく仕事を永明中学校に配置する。校務サポーターとして学校の先生たちの仕事のサポートし、永明、宮川、玉川小学校に配置する。茅野市型のコミュニティスクールを昨年度立ち上げた。
- ・子ども家庭総合支援拠点では、幼児教育課、こども課、学校教育課の中で相談窓口を設け、教育委員会と首長部局の連携により学校を支えていく。
- ・地域・保護者では学校や子ども家庭総合支援拠点に相談をし、学校だけでは対応できないような相談・苦情は家庭総合支援拠点にて受け持つ。
- ・事業効果では時間外勤務時間縮減（月 45 時間以下）、質の高い授業が行われる学校の実現を目指す。

④期待される効果

- ・市教委、発達支援センターなどと連絡・調整を担当することにより、管理職の負担を軽減する。
- ・発達障がい、保健室登校を含む不安定な児童生徒、保護者への対応、その他軽微な事例に対応することにより、学級担当の負担を軽減する。
- ・保健室登校の児童生徒に対応することにより、養護教諭の負担を軽減する。
- ・保護者、地域からの相談や苦情電話に対応することにより、管理職、事務職員などの負担を軽減する。
- ・上記の負担軽減により、質の高い授業を実現する学校作りを実現する。

教育長

何か質問等ございますか。それでは最後に事務局から日程をお願いします。

教育総務係長

4月の日程になります。4月の定例教育委員会は4月26日（木）午前9時30分から704会議室で行います。その2週間前には事務局の会議ということで4月12日（木）午前9時から704会議室で行います。以上になります。

教育長

何かご質問などありますか。それでは、以上で3月の定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 30 年 4 月 26 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長